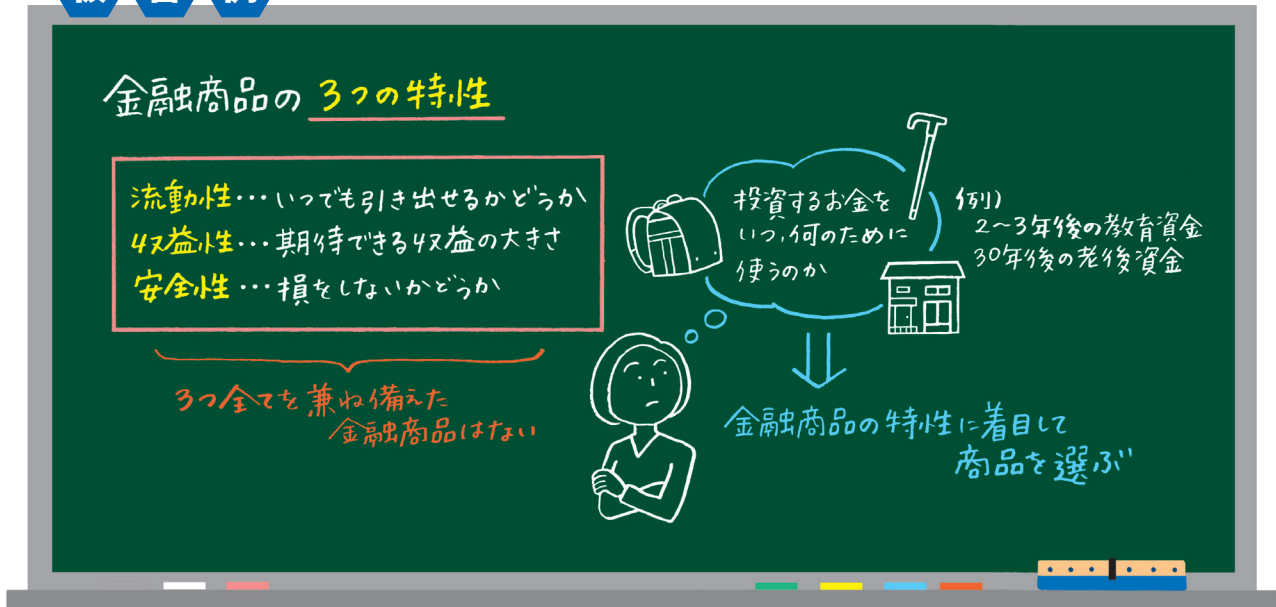


3つの特性を全て兼ね備える金融商品はあるのか

文：国分 さやか

板書例



金融商品の特性とは

投資をしようと考えるとき、皆さんはどのようなことを重視して金融商品を選ぶでしょうか。投資をするお金の先々の使い道が決まっていなくても、突発的に必要になったときに備え、いつでも引き出せることを重視するかもしれません。また、できるだけ増やしたいと思うものの損はしたくないと考えるかもしれません。

いつでも引き出せることを「流動性が高い」、利回りの良さや売却益を期待できることを「収益性が高い」、投資した金額が減らずに損をしないことを「安全性が高い」といいます。この流動性・収益性・安全性は金融商品の3つの特性といわれています。

● 流動性の高い商品

流動性は、金融商品を現金に換えるまでにどのくらいの期間がかかるのかという換金のしやすさ、つまりいつでも出し入れができるかどうかのことをいいます。例えば、普通預金はいつでもATMで引き出すことができるので、流動性が高い商品に分類されます。一方、債券や株式は換金までに数日かかるため、普通預金に比較すると流動性が低い商品といえるでしょう。

● 収益性の高い商品

収益性とは、運用の結果、期待できる収益の大きさのことをいいます。株式は、投資先の会社の業績が良くなることで配当金が増えたり、株価が上昇して売却益を得られたりする可能性があるため、収益性の高い商品に分類されます。一方、預貯金は、株式や投資信託、債券等と比較すると収益性が低いといえます。

● 安全性の高い商品

安全性は、投資をした元金が減らないか、利息などの支払いが確実に行われるか、つまり損をしないかどうかということを行います。預貯金は、どれだけ預けていても減ることはありません。また、仮に預け先の金融機関が破綻したとしても、預金保険制度によって一定額は保証されるため、安全性の高い商品に分類されます。一方、株式や株式を組み入れた投資信託などは、価格が日々変動するため、預貯金に比較すると安全性が低いといえるでしょう。

金融商品を選ぶ基準

さて、多くの人にとって魅力的な金融商品とはどのような特性があるのでしょうか。いつでも出し入れできた方が便利なので、流動性が高いことは魅力の一つになります。また、収益が期待できる方がうれしいため、収益性が高い商品も魅力的です。そして、損失を出さない安全性の高い商品ももちろん魅力的でしょう。

実際、金融商品に対してどのような点を重視するかという調査の結果（日本証券業協会、2021）は、1位が「いつでも出し入れができる」（流動性が高い）、2位が「元金が安全」（安全性が高い）、3位が「利回りが良い」、4位が「値上がり期待できる」（収益性が高い）というものでした（複数回答）。

では、流動性・安全性・収益性という3つの特性全てを兼ね備えた金融商品はあるのでしょうか。例えば、普通預金のように、いつでも引き出すことができ、元金が保証されているという、流動性と安全性の両方を満たす商品はあります。

しかし、残念ながら流動性・収益性・安全性という3つの特性全てを満たす金融商品はありません。安全性が高い金融商品は、その価値や利益が変動しませんが、値動きがあるからこそ、値が上がった時に売却することで利益が出たり、値が下がった時に売却した場合には損失が出たりするのです。

金融商品の選び方

したがって、投資をする際には、投資するお金をいつ、何のために使うのかといった投資期間や重要度から金融商品の特性に着目して商品選びをしていくといいでしょう。

もし2～3年中に必ず必要となる教育資金などであった場合には、減ってしまうことのないように安全性を重視する必要があります。一方で、例えば30年後の老後の資金といった場合には、長期間にわたって積み立てることでリスクを低減する時間分散効果を期待しつつ、はじめのうちは収益性を重視してもいいのではないのでしょうか。また、特性の異なる複数の金融商品に分散して投資をしていくことも大切になります。ぜひ流動性・収益性・安全性に着目してご自身にあった金融商品を選択してください。

※ 資料:日本証券業協会「2021年度(令和3年)証券投資に関する全国調査(個人調査)」

● 内容については万全を期しておりますが、配信時現在の情報を基に執筆していること、執筆者個人の見解も含まれていることをご理解のうえ、ご利用ください。

